

生活単元学習 Life unit study

- ▶特別支援学級（知的・自閉情緒）
- ▶単元：地球温暖化って何？
- ▶本時：1/4 時間

活用教材



<https://shouene-kaden.net/learn/index.html>



<https://shouene-kaden.net/sqhub/index.html>

ねらい

- ・人間が電気やエネルギーをむだにすると地球が温暖化してしまうことに気づく。
- ・地球温暖化の意味を自分なりの言葉などで説明できる。

Point 1

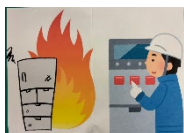


解決したくなる「問い」を引き出す教師の仕掛け

冷蔵庫が壊れたので燃やしたら CO₂ 大魔王が現れて大変なことが起きた

- ・スライドで問題を提起する

- ・どんなことが起きそうか児童に考えさせる



Point 2



主体的・対話的に学ぶ児童の様子

○なぜこうなったの？

「冷蔵庫を燃やしたからだ！」「いらなかったら燃やすよ！」
「それって地球によくない？」「SDGs じゃないよ」

○きみだったらどうする？

「ごみ収集車に持って行ってもらう」
「いや、リサイクルする」「電気屋に持って行く」

○燃やしたらこの後どうなる？

「燃やすと出るガスが大魔王は好きで元気になる」
「地球温暖化ってそういうことだったのか」
「大魔王が元気になるとこまるよ」
「大魔王は、車の排気ガスや電気のむだづかいがすきな」

○大魔王の好きなこと、得意なことはなに？



Point 3



「問い」の解決を通して学びが深まった児童の姿

じゃ、どうすれば CO₂ 大魔王から地球を守れるか？

○地球を守るためにどうしたらよいかゲームで学ぶよ！



「ちょっとだけゲームをしてみたい」
「どんなゲームかな？」
「この後どうなるの？」

○今日は、ここまで。続きはゲームをしながら学ぶよ！



<授業実施に向けた参考資料>

■本時の学習の板書

いらないものは燃やせばいい？

きみだったらどうする？

- ・ごみ収集車に持って行ってもらう
- ・いや、リサイクルする
- ・電気屋さんに持って行く

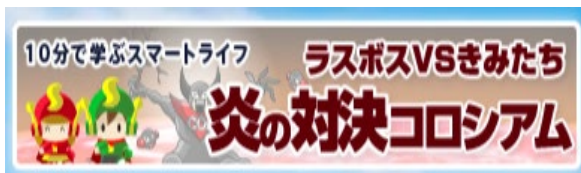
- ・燃やすと出るガスが大魔王は好きで元気になる
- ・大魔王は車の排気ガスや電気のむだづかいがすき

どうしたらいい？

10分で学ぶスマートライフ ラスボスVSきみたち 炎の対決コロシアム

■次時の学習

ゲームを通して、CO₂大魔王から地球を守るにはどうしたらよいか考える



□教材のクイズやゲーム、コンテンツなどで学んだ結果から（児童の発言）



CO₂大魔王は、ぼくたちが電気のむだづかいをしたりなんでもかんでも燃やしてしまったりすると元気になるらしい。地球を守るためにゲームで一人調べ学習をしたよ。



先生は、冷蔵庫を燃やしてしまったけれど、それはSDGsじゃない。SDGsの目標12がだいじ。ゲームしながら勉強ができて楽しかった。



SDGsと地球温暖化について新しく知ることができて、くわしくなったよ。ゲームの中に知らない言葉があった。



□特別支援学級での「地球温暖化」の学びで指導者が配慮したこと

特別支援学級で地球温暖化を学ぶ際には、学ぶきっかけをどのようにもたせるかが大切です。それが見つかれば、学習への興味や意欲を高めることができます。ここでは、「炎の対決コロシアム」の導入部分の画像を「スライド」にして提示して、地球温暖化の原因に気づかせます。SDGsや地球温暖化という言葉を知っている児童には、その児童なりの説明で発表させます。原因が分かったら温暖化を防ぐためにどうしたらよいかと問いかけ、2時間目以降は、個々にゲームで学びます。すぐにゲームに取り組ませるのではなく、ゲームをするために知っておきたい温暖化の原因を事前に学ぶと、次の時間のゲーム学習が「楽しかった」だけとなりません。